



あきつ



第32号
令和8年3月10日
校長 田上 明男

出会いと体験が育てる子どもたちの成長

本校では、3年生以上を対象に「総合的な学習の時間」を充実させ、子どもたちが自ら課題を見つけ、学習を広げていけるような取り組みを進めています。

総合的な学習の時間は、国語や算数のように決まった答えを求める学習とは異なり、「自分で問いを立て、調べ、考え、まとめ、人に伝える」という一連の探究活動を体験できる学びです。地域や身のまわりの課題に目を向け、調べ学習や体験活動を通して学びを深めることで、次のような力が育っていきます。

1 自分で課題を見つける力

「なぜだろう」「どうしてだろう」という疑問を持つことは、学びの出発点です。総合的な学習では、テーマに沿って自分が知りたいことを考え、課題を設定します。自分で選んだ課題だからこそ、主体的に学習へ向かう姿が生まれます。

2 情報を集め、整理し、考える力

インタビュー、調べ学習、体験活動などで積極的に情報を集めます。それを整理し、自分の考えにつなげることで学びが深まります。これは将来求められる「自分で考える力」の土台となります。

3 人と協力し、表現する力

友達との話し合い、まとめた内容の発表などを通して、協力する姿勢や自分の考えを伝える力が育ちます。これらは社会で生きていくうえで欠かせないコミュニケーション力につながります。

4 地域を知り、大切に思う心

地域の方々に支えられて行う活動も多くあります。ふるさとについて学び、そこで働く人々や自然への理解が深まることで、“地域を大切にできる心”が育っていきます。

本年度は、

- 3年生…「それいけ！秋津探検隊～秋津のイイね！を見つけて紹介しよう・大豆名人になろう～」
- 4年生…「いろいろな方々とのかわりと自分発見（福祉学習）」
- 5年生…「身近な自然と環境～地域の自然と水俣病～」
- 6年生…「身近な歴史と平和、私たちの未来～横井小楠に学ぶ・平和学習・自分発見～」

をテーマに、探究活動を進めてきました。

先日、3年生が若葉小学校との交流に加え、大豆名人さんをお招きして「感謝の会」を開きました。

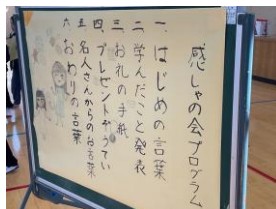
若葉小との交流では、「秋津のイイね！」として、健軍商店街、校区の有名人、地元のお店などについて、子どもたちらしい視点で紹介が行われました。2学期には本校から若葉小へ出向いて紹介を行ったため、今回は若葉小の児童が本校に来てくれました。月出小ともオンラインで同様の交流を行いました。

「感謝の会」では、大豆名人さんにお越しいただき、子どもたちは自分の言葉で学んだことを発表し、感謝の気持ちを伝えました。いずれも、子どもたちの生き生きとした表情が印象的で、この1年間様々な経験をして自信をつけた表情でもありました。

総合的な学習の時間は、知識の習得だけでなく、「考える」「つながる」「挑戦する」といった“生きる力”そのものを育む貴重な学びです。こうした経験の積み重ねが、子どもたちの将来に向けた大きな成長につながると考えています。



若葉小で「秋津のイイね！」を紹介



手作りのプログラム



お礼のメダルとお手紙を渡しました



秋津小で若葉小3年生が発表



一人一人の学びを伝えました

